

コロナ禍という転機の中で感じた事は「変化へのマネジメント視点」の更なる醸成が求められ、非連続な変化の時代に対してスタートアップが俊敏な対応力の強化を促進して行けるか否かが鍵となる実態です。不確実性の高い“VUCAの時代”においては、事業性を問い直す思考法フレームワーク「OODAループ思考」が注目されています。このOODAは行動や判断を後回しにせず、素早く意志決定し行動を起こしてゆく為の思考法です。この思考法は4つのステップが有り、それらの頭文字を取ってOODA(ウーダ)と呼ばれています。そしてこれらの4つのステップを実行した結果について「振り返り」の視点を含め、OODAループ思考と言います。PDCAを主流として捉えてきた時代からの変遷も必要要素とT-Bizは思考し支援内容を更に昇華してゆきます。 **As the world shifts, leaders should shift too.**

東北大学連携ビジネスインキュベータ 【T-Biz】 チーフインキュベーションマネージャー(CIM) 工藤 裕之

T-Bizセミナー開催報告……令和5年度 行政・支援機関による支援事業ご紹介

■ 昨年の政府による『スタートアップ創出元年』宣言を受け、スタートアップ支援に関する宮城県及び仙台市の新年度予算は、ともに前年度比で増額され、新たな支援事業も発表されました。

T-Bizでは、今年度も支援事業がほぼ出そろった4/25、T-Biz会議室においてT-Bizセミナー『必ず活用したい！ 令和5年度 研究開発/販路開拓等の支援事業ご紹介』を開催しました。宮城県・仙台市・みやぎ産業振興機構より総勢13名の職員の方々にお越しいただき、各種支援事業のご紹介をいただきました。T-Biz入居企業の皆様他、大学研究者の皆様にも参加いただき、リアル・オンライン合計24名の皆様に補助金・助成金や販路開拓支援の有益な情報を共有いただきました。また、セミナー前後に名刺交換をいただきました。



工藤CIM挨拶



宮城県様支援事業紹介の様子

セミナー開催の翌週には、入居企業様からの具体的相談に対応いただくため行政機関の担当者の方にT-Bizを再訪いただいております。IM室では、今年度も入居企業の皆様にとってタイムリーな話題や有益な情報をご紹介する各種セミナーを開催してまいります。今後もぜひT-Bizホームページの「お知らせ」と「イベント一覧」をご覧ください。

主要メディア掲載

■ 2023年 3月28日 日本テレビ『カズレーザーと学ぶ。』
<https://www.ntv.co.jp/kazu/articles/3115xd0hegvai4y98hck.html>

2023年 4月 1日 ABCテレビ『教えて！NEWSライブ 正義のミカタ』
<https://www.asahi.co.jp/mikata/archive/202304.html>

ふたつのテレビ番組に、シグマアイCEOである大関東北大学教授が出演し、量子コンピューターをわかりやすく解説。また、5/8には、MBSラジオ『上泉雄一のええなあ！』に電話出演。
<https://www.sigmailab.com/news>

■ 2023年 6月 4日 NHK Eテレ『サイエンスZERO』
『認知症の転換点#2 アルツハイマー病は“脳血管障害”!?』
サウンドウェーブイノベーション取締役会長の下川先生がVTR出演。開発中の治療機器LIPUS-Brainによる認知症治療が解説されました。
<https://sw-innovation.com/news/media/1754/>

2023年 6月12日号 日経ビジネス No.2194、電子版
『認知症に克つ PART3 早期の発見・改善へ ヘルステック総動員』
サウンドウェーブイノベーションの最新の取組みが下川先生の写真とともに掲載。
<https://sw-innovation.com/news/media/1837/>

■ 2023年 3月22日付 日刊工業新聞 ポールウェーブ
『ドローンに小型ガス分析装置搭載 試験用プラントで実証』
<https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00667115>

■ 2023年 4月26日付 産経新聞電子版 他
『日本製の地雷探知機、ウクライナで活用へ 引き渡し式』
2023年 4月27日付 産経新聞電子版
『政府、7月にポーランドでウクライナ地雷除去訓練で調整』
ALISysの地雷探知機「ALIS」による訓練予定が報道されました。

2023年 5月25日付 河北新報 NHK仙台・他民放TV各社
『小学校庭からくぎ約50本、金属探知機で除去 岩沼市教委が東京児童のけが受け対策』ALISys社長の佐藤先生が金属探知機を貸与し調査を支援しました。
<https://alisys.co.jp/news-jp/>
<https://www.youtube.com/watch?v=r00R1P4-J8M>

■ 2023年 5月11日付 河北新報 『テクスタ宮城 設立』
『支援先の訓練用血管モデル開発企業 モチベーション高まる』
スタートアップを代表しBlue Practiceが紹介されました。
<https://kahoku.news/articles/20230510khn000031.html>

T-Biz入居企業ご紹介

株式会社ALISys (アリス)

ALISys Co., Ltd.



代表取締役社長
佐藤 源之 氏

電磁波による先端地表計測技術で、
『国際貢献』と『社会課題解決』を図ります。

地雷検知システム「ALIS」(エーリス)とは？

社名のALISysとは、**A**dvanced **L**and **I**maging **S**ystem(先端的な地表・地中画像化システム)の略称です。東北大学 東北アジア研究センター 佐藤研究室で開発してきた電磁波による地表計測技術により、紛争被害国での人道的地雷除去作業の効率化や、国内外での土砂崩れや社会インフラ老朽化被害の抑制等の社会課題の解決に貢献することを目的に創業しました。

地雷検知システム「ALIS」(エーリス)は、金属探知機と地中レーダーを組み合わせた地雷探知機です。金属探知機が検知した物体を地中レーダーが画像化、付属端末のモニターでその形状を目視することで迅速かつ効率的に地雷か否かを判別します。地雷原を探索して1千個の金属を掘り出しても地雷は約1個、爆弾の破片や薬莖、がれき内の鉄骨の中から地雷を容易に識別することで作業効率と安全性を大きく向上させることが可能となりました。そして、これまで、JICAを通してカンボジア地雷対策センター(CMAC)へ「ALIS」供与と技術指導を行ってきました。



(JICA提供) 佐藤先生によるカンボジアでの訓練

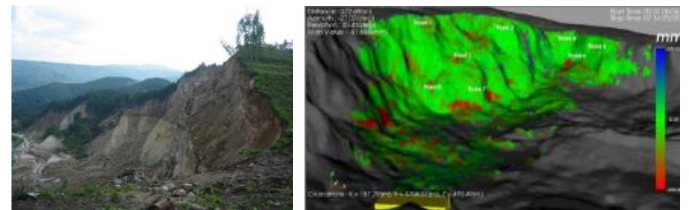


地雷探知機『ALIS』(エーリス)

今後の目標と展望は？

カンボジアのほか、これまでボスニア・ヘルツェゴヴィナ、コロンビアへも「ALIS」を供与し、技術指導をしてきました。外務省とJICAの要請を受け、2023年1月にカンボジアにてウクライナ政府職員に向けての地雷除去訓練も実施しています。すでにウクライナへ4台の「ALIS」を引き渡し済みで、7月には隣国ポーランドで実施予定の地雷探知訓練にて直接指導を行う計画です。

国際貢献事業だけではなく、日常の安全・安心につながる防災・減災に向けた様々な用途のレーダ技術開発で、社会インフラ・構造物の非破壊検査や遺跡調査等への応用を進め社会の課題を解決します。



GB-SAR (地表設置型合成開口レーダ) による荒砥沢の崩落観測例

T-Biz入居のメリットは？

ALISysは2023年2月にT-Bizに入居しましたが、初めに感じたのは①東北大のブランドです。名刺の住所が東北大青葉山キャンパスになるので、お客様から強い安心感がいただけます。

また、②東北大の多くの先生方と多面的で密接な連携ができる、③同じ境遇の他社からの事業成長に向けた良い意味での競争意識への刺激を受ける、④賃料や技術開発予算への助成、運転資金相談等の行政組織をまたいだ様々な支援制度が手厚い、等のスターター企業の成長に向けた環境が満載です。

将来は、⑤テックスターターとして最大の財産であるハイテク人材採用についても、地の利を生かして東北大の現役学生に直接アクセスし、積極的に採用できればと期待しています。

《企業プロフィール》



株式会社ALISysは、東北大学 東北アジア研究センター 佐藤源之研究室が有する電磁波による先端地表計測技術により、紛争被害国での人道的地雷除去作業の効率化、国内外での土砂崩れや社会インフラ老朽化被害の抑制等の社会課題に貢献することを目的に2019年2月に創業。佐藤先生は、「災害復興と地域振興のための電波科学利用に関する貢献」が認められ、2023年1月に『第72回 河北文化賞』を受賞。現在、日本政府の国際貢献事業として外務省とJICAからの要請を受け、ウクライナ政府への地雷探知技術の指導を行っている。

株式会社ALISys

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40
東北大学連携ビジネスインキュベータ 201号室
<https://alisys.co.jp/>



G7仙台科学技術大臣会合にT-Biz入居企業より2社参加

■2023年5月12日～14日の日程で仙台市・秋保温泉においてG7サミットの関係閣僚会合の一つとして、G7仙台科学技術大臣会合が開催されました。12日夜に会場である秋保温泉において地元歓迎イベント『アキウナイト』が催され、東北の食や文化、そして東北各県の企業・大学計24団体が参加してその技術や研究成果を紹介する展示スペースが設けられ、T-Biz入居企業からは、ともにJ-Startup企業に選定されている**エアアイシルク**と**ボールウェーブ**の2社が参加いたしました。



開場で説明するボールウェーブ赤尾社長
(東北大学産学連携機構提供)

エアアイシルクから岡野社長が、ボールウェーブからは赤尾社長が参加、東北大学発スタートアップとして次世代放射光施設「ナノテラス」紹介ボードの隣にブースが設けられ、独自の技術をG7会合参加の各国大臣に紹介いたしました。



両社のブース前

2023年度、海外マーケットへの進出に一層力を入れる両社にぜひ注目してください。

<http://www.ai-silk.com/> AI SILK.
<https://www.ballwave.jp/> Ball Wave



イギリスのGeorge Freeman大臣に説明する
エアアイシルク岡野社長

宮城県による「テクスタ宮城」活動開始 T-Biz入居企業より15社が登録

■ものづくり系スタートアップ企業を支援する組織として宮城県が中心となり新たに設立した「テック系スタートアップ・サポートコンソーシアム宮城」(略称:テクスタ宮城)の設立総会が、5/10仙台国際センターで村井宮城県知事他、多数が参加して行われました。



多数が参加した「テクスタ宮城」設立総会風景(宮城県提供)

支援する側の県内の製造業・金融機関・研究機関から53企業・団体が、支援を受ける側のスタートアップ企業には33社が名前を連ねており、T-Biz入居企業からは15社が登録しております。今後は、事務局宮城県を中心に構成員が提供する支援策を整理し、マッチング事例を蓄積してゆくことになるそうです。

■テクスタ宮城の本格的な活動開始を受け、事務局を務める宮城県経済商工観光部 新産業振興課 スタートアップ支援班様よりコメントをいただきましたのでご紹介いたします。

《 宮城県様コメント 》

宮城県では、東北大学発等のテック系スタートアップが宮城県で成長・定着していただくために、産学官金からなる構成機関が一体となってスタートアップの支援を行う、「テック系スタートアップ・サポートコンソーシアム宮城(テクスタ宮城)」を新たに立ち上げました。

T-Biz入居企業様の中からもすでに15社からマッチング申込書をご提出いただいております。今後、スタートアップ企業様のニーズを伺いながらテクスタ宮城構成機関とのマッチング等のお手伝いができればと考えております。スタートアップ企業様におかれましては、お困りごとやご要望があれば、お気軽にテクスタ宮城事務局(宮城県新産業振興課スタートアップ支援班)までご連絡いただければ幸いです。

テクスタ宮城 設立総会 <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/shinsan/techsta/230510sokaikaisai.html>
テック系スタートアップ・サポートコンソーシアム宮城 <https://www.pref.miyagi.jp/site/techsta/index.html>

レボルカ NEDOの2023年度補助事業に採択

■タンパク質を“進化分子工学×人工知能技術”の独自技術で育て進化させ提供している**レボルカ**は、東北大学および産業技術総合研究所と共同で、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の2023年度補助事業『NEDO先導研究プログラム/新技術先導研究プログラム』に採択されました。テーマ名は「AI×ロボティクスによるバイオ分子設計デジタルラボの研究開発」です。ai Protein@技術の更なる発展に期待大です。



レボルカホームページ https://www.revolca.com/news/jp_news/corporate/a39
NEDO採択ニュースページ https://www.nedo.go.jp/koubo/SM3_100001_00030.html

展示会出展報告

■超高精度プラスチック・ガラス光学部品の**ナルックス**は、6/21～23 東京ビッグサイト開催の『第35回 ものづくりワールド』に出展、東北大学の低温プラズマ技術とナルックスの微細加工技術の融合によるプラズママイクロミストを用いた空中浮遊有機物(ウイルス・菌・臭気物質)の不活化・分解に関する研究開発成果を発表いたしました。会場にはプラズママイクロミスト装置の試作機が展示され、有人環境にお



いて空中浮遊ウイルスを不活化できる技術を多くの来場者に実感いただきました。開発に携わるナルックス西牧様から「皆様からの強いご期待に添える様、本格的な事業化に向けてこれからも邁進して参ります」とコメントをいただきました。ウイルス不活化の革新的技術を開発するナルックスに今後も注目です。

NALUX <http://www.nalux.co.jp/>

以下の企業も展示会出展し、自社技術を紹介しています。

- ナルックス
『OPIE'23 レンズ設計・製造展』4/19～21 パシフィコ横浜
- ボールウェーブ
『CITE Japan 2023』5/17～19 パシフィコ横浜
『スマートセンシング 2023』5/31～6/2 東京ビッグサイト
『FOOMA Japan 2023』6/6～9 東京ビッグサイト

T-Biz 入居企業情報

■**レボルカ** 世界最大のがん研究学会であるAACRが4月にフロリダで開催したカンファレンスで米国事務局長である浜松シニアディレクターがポスター発表を行いました。

https://www.revokka.com/news/jp_news/event/a37

住友ファーマとのAI創薬に係る共同研究のマイルストーンを達成。

https://www.revokka.com/news/jp_news/collab/a40

■**ポールウェーブ** 東北大学名誉教授である山中CSOによる「第17回 未来科学オープンセミナー」の動画が公開され、ポールSAWセンサの原理から超小型ガスクロマトグラフ「Sylph」のドローン搭載実験までわかりやすく説明されています。

<https://www.youtube.com/watch?v=PZLx5sWo0xg>

■**Blue Practice** センサ搭載型血管モデルシステム「BIS-ORTA」が日本生体医工学学会において新技術開発賞を受賞。

<https://bluepractice.co.jp/>

■**MK PLUS** Phenom Resources社(カナダ)と、バナジウムの加工を行う合弁会社設立に向けて覚書を締結。 <https://mkpl.co.jp/>

■**サウンドウェーブイノベーション** シリーズBで約3.5億円の資金調達を行い、それに合わせて経営体制を刷新しました。

不整脈治療用医療機器「衝撃波アブレーションカテーテルシステム(SWCS)」に関連する国内特許査定がおりました。

5/26、早期アルツハイマー病患者を対象としたLIPUS-Brain経頭蓋低出力パルス波超音波治療装置の有効性及び安全性を評価するための検証的試験の治験計画届を医薬品医療機器総合機構に提出し受理されました。

<https://sw-innovation.com/news/>

■**エーアイシルク** シリーズAファーストクローズとして3.2億円の資金調達を実施。増産・機能増強の他、一層の海外市場向けマーケティング活動や組織内部体制の構築に対応します。5/17付の日本経済新聞にも掲載。 <http://www.ai-silk.com/topics/index.html>

■**ALISys** 2月に行われた佐藤源之先生の東北大学での最終講義の動画が公開され、レーダ技術の開発から地滑り予知や人道的地雷除去など社会貢献性の高い研究成果の講義がご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=c7PCi2fr1PU>

T-Biz 施設ご紹介

充実の設備と恵まれた環境をぜひ一度ご覧ください



研究開発や製品の試作・製造拠点、オフィスとしてご利用いただくタイプの居室

※ P2レベルまで可能(動物実験は不可だが、遺伝子組換え用微生物・魚類の評価飼育までは可能、要相談)



主にオフィスとしてご利用いただくタイプの居室



大人数の会議・セミナー等に使用できるプロジェクト・音響設備完備の共用会議室(1室・予約制)

T-Biz 入居者募集居室ご紹介 (2023年6月末現在)

居室面積や詳しい居室仕様などは下記ホームページをご覧ください、T-Bizにお問い合わせください。

ウェットラボ タイプ1
ウェットラボ タイプ2
オフィス

現在空室はございません。今後の見通しは直接T-Bizにお問い合わせください。
現在空室はございません。今後の見通しは直接T-Bizにお問い合わせください。
403号室(22.28㎡) 405号室(22.28㎡)

T-Biz アクセスとお問い合わせ先



JR仙台駅からお越しの際は
地下鉄東西線「仙台」駅から
「八木山動物公園」駅行きに乗車(約9分)。
「青葉山」駅下車、南1出口から徒歩約2分。
タクシーをご利用の場合(約15分)は
「東北大学未来科学技術共同研究センター」
と指示してください。その東隣です。



T-Biz 東北大学連携ビジネスインキュベータ

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40

☎022-726-5866

<https://www.smrj.go.jp/incubation/t-biz/>



● 中小機構は、新たな一歩を踏み出そうとしている経営者をハードとソフトの両面からサポートします。

https://www.smrj.go.jp/regional_hq/tohoku/index.html

インキュベーション

常駐する専門家が早期事業化を一貫してサポート

起業相談支援情報

AIを活用した経営相談 J-Net21による起業・創業に役立つ情報サポート

アクセラレーション

資金調達や事業提携に向けた伴走型のアクセラレーター支援

ハンズオン支援
～専門家派遣～

個別の経営課題に応じて豊富な経験と実績を持つ専門家チームを派遣

ビジネスマッチング

展示会・商談会や「J-GoodTech」サイトで販路開拓をサポート

創業支援拠点

TIP*S・BusiNest 交流や学びの場を提供 実践の第一歩をサポート

Be a Great Small.
中小機構

中小企業基盤整備機構
東北本部